

平成13年度 第2次試験 【事例】

AAS解答例

第1問(配点20点)

(設問1)

(a)	IC検査用治具の需要を左右する半導体市場の動向は、長期的には拡大が予想される点。
	IC形状が多様化し、IC検査用治具市場は少量品・特注品領域の拡大が見込まれる点。
(b)	IC検査用治具の需要を左右する半導体市場の動向は、短期的には好不況の波が大きい点。
	標準品の低価格競争の激化や、少量品・特注品に対する顧客からの短納期要請が強い点。

(設問2)

(a)	既存得意先の一部は新規事業のユーザーとならるため、ユーザーへの直接販売が可能な点。
	他社製品より短時間で正確な検査が可能な治具を開発する微細切削加工技術力がある点。
(b)	既存得意先以外のユーザーを獲得するため、新規事業部門での営業体制強化が必要な点。
	顧客要請である少量品・特注品の短納期対応を実現するため、生産体制強化が必要な点。

第2問(配点30点)

(a)	種類は、短時間検査が可能な少量品・特注品である。理由は、市場拡大が見込まれるため、標準品の低価格競争を回避できるため、技術力を活かして競合差別化が図れるため。
-----	---

(b)

販売チャネルは、既存得意先を中心にユーザーへの直接販売を行う。理由は、販売シナジーが働く既存得意先があるため、短納期要請に対応するには直接販売が有効なため。
--

第3問(配点20点)

(a)

大手メーカーX社の販売力を活用することにより、安定した受注数量が確保できること。
大手メーカーX社のブランド力を活用することにより、販売促進費用が削減できること。

(b)

大手メーカーX社との対等な取引関係が構築できず、価格面で主導権を取られること。
大手メーカーX社の市場認知が高まることにより、C社ブランドの構築が図れないこと。

第4問(配点15点)

具体的方法は、受注情報に関するC社の設計部門と製造部門の情報共有化を図るためにコンピュータおよび通信ネットワークを活用することにより、短納期での納入を実現する。
--

第5問(配点15点)

工場の増設や設備投資の回収が計画通りに進まないリスクが生じる。具体的には、半導体市場は好不況の波が大きく、需要が低迷した際に期待収益を確保できないリスクである。
--